

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもケアセンター キッズ1st			
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 1日		～	令和7年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数)	12名
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 1日		～	令和7年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・こども一人一人の発達特性への配慮や、それぞれの課題に合わせた支援を行っているので、こどもが安心感を持って通所している。	・支援の全ての原点は「共感」と「愛情」。子どもの思いや考えを受け入れ、愛情いっぱいの関わりを持ち、安心して過ごせる場所になるようにしている。 ・理学療法士や看護師、保育士などの専門的な知識を有する職員が、子どもたちへの発達アプローチを行っている。	・特性傾向が強い子どもには、個別の専門的支援の実施や相談する機会を設ける。
2	・保護者様との連携を重視し、子どもの様子や成長を共有している。	・送迎時などを利用して、子どものご家庭での様子や事業所での活動の様子、成功事例や課題等の情報交換を行っている。 ・随時保護者様からのご相談を受け、必要に応じて学校訪問を行うなど連携できる体制を取っている。	・保護者様からご意見やご要望がより言いやすい環境を作っていく。
3	・イベント活動を積極的に行っている。	・外出イベントや事業所内でのイベント活動を行い、実体験から得られる学びや豊かな情操を育んでいる。 ・イベントにより、お友達と協力する機会や意見交換をする機会、同じ目標や同じ楽しみを共有する機会が生まれ、対人関係や社会性の基礎が育まれるようにしている。	・子どもたちにとっての初めての体験や、嬉しいこと、楽しいこと、驚きや感動、時には悩んだり考えたり、喜怒哀楽を存分に発揮できるイベントを職員一同で考えていく。
4	・医療的ケア児への支援を行っている。	・医療的なケアが必要な子どもたちへの支援や、その保護者様のご負担を減らせるように、できる限り受け入れを行っている。	・まだまだ十分に支援が行き届いているとは言えないので、有資格者の増員やインクルージョンでの活動を充実させていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者会や家族支援プログラム（ペアレントトレーニング等）や保護者様も参加できるイベント等の機会がない。	・それぞれの保護者様に個別での助言やご相談などをさせていただいているが、もう少し大きな枠組みでの交流を今まで計画してこなかった。	・保護者様の都合や状況など意見をお聞きしながら、保護者参加型のイベントや意見交換会の開催など、交流を深める機会を設けられるように検討していく。
2	・地域社会や外部への活動の参加や招待など地域交流が少ない。	・イベント活動や地域のサッカークラブとの提携など、地域社会との交流の第一歩として進めているので、今後さらに加速させられるように協議をしていく。	・地域に根付き生活に密着した事業や活動に関わりを持ち、自分たちが生活している街を知り興味を持つことができるように、市役所や社会福祉協議会などの関係機関に働きかけをしていく。
3	・職員のスキルアップのための研修の機会が少ない。	・日々の支援に向き合っているため、行政による外部研修に参加できる機会がなく、職員独自によるスキルアップにゆだねられている。	・業務の効率化やシフト制による時間を生み出す工夫や職員の増員などを行い、事業所内外の研修の機会を増やす。